

# 岸和田市景観重要樹木

～伝えたい、つなぎたい「こころの樹」～

地域の景観を先導し又は継承し、良好な景観と特徴づけている樹木  
歴史的、文化的な価値が高い樹木  
市民に親しまれ、愛されている樹木  
景観法に基づく景観重要樹木を岸和田市内で初めて指定しました。

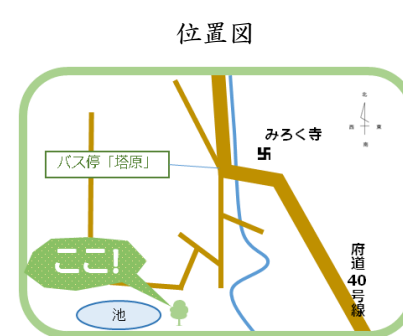
## 01 奥家の棕 (阿間河滝町)

所在地 : 岸和田市阿間河滝町1643番地  
樹種 : ムクノキ  
樹容 : 樹高14m 幹周り3.5m  
指定理由 : 阿間河滝町は、古くから石垣が連なる特徴あるまち並みを形成しており、棕の大き木が旧家の門前に堂々と枝を伸ばす姿は、岸和田の歴史的、文化的な景観を特徴づける樹木となることから指定



## 02 塔原町のサクラ (塔原町)

所在地 : 岸和田市塔原町374番  
樹種 : ソメイヨシノ  
樹容 : 樹高12m 幹周り3.5m  
指定理由 : 背景には和泉葛城山があり、山の景観と調和しつつもサクラが咲く季節には山の緑との素晴らしい対比を創り出し、また周辺の農の景観が広がるなど春だけでなく夏の葉桜、秋の紅葉など周囲の里山風景を美しく演出する樹木となることから指定



## 03 吉井町のエノキ (吉井町)

所在地 : 岸和田市吉井町2丁目519番  
樹種 : エノキ  
樹容 : 樹高14m 幹周り3.5m  
指定理由 : 見るものを圧倒するような迫力があり、根元にある石塚と傍らを通る天の川とともにこの地域のシンボルとなる樹木となることから指定

